

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 健康教育支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111(内 3592)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,349 千円 (前年度予算額：1,385 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,385	0	0	0	0	0	0	0	1,385
要求額	1,349	0	0	0	0	0	0	0	1,349
決定額	1,349	0	0	0	0	0	0	0	1,349

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・性に関する教育については、LGBTの正しい理解や性犯罪・性暴力対策等新たな課題への対応が求められている。専門医の協力を得ながら、人間尊重、男女平等の精神を基盤とした人間関係の在り方を重視した指導を推進する。
- ・児童生徒をとりまく生活環境は大きく変化し、運動器疾患、メンタルヘルス、薬物乱用等、地域や学校の健康課題はますます複雑化、深刻化していることから、地域や学校の健康課題解決に向けた取組を支援していく。
- ・新たに、小児科医等を講師とした「命の教育」の授業を推進することで、健康教育の根底にある「生命尊重」の心を醸成し、より成果のある事業とする。

(2) 事業内容

- ・地域や各学校の健康課題解決のために、大学教授や専門医等、地域の専門家を講師として派遣し、助言・支援・指導等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10 / 10
- ・ 県内全域への事業であるため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	899	講師謝金
旅費	436	講師等旅費
需用費	2	会議用お茶代
役務費	5	郵送料
使用料	7	会場借り上げ代
合計	1,349	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進

目標 17 健康教育・食育の推進

(2) 経緯

生活環境の変化に伴う新たな健康課題の課題解決に向け、児童生徒が自他の命や健康を大切にしながら、積極的に心身の健康の保持増進を図り、活力ある生活を送るための基礎を培う。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 学校や各地域の健康課題を解決するために、県内各地区の研修会や学校に対する専門医等を講師とした派遣体制を構築する。県立学校の「性に関する教育」と「命の授業」の講師派遣については、令和5年度までに、3年に1度は全ての学校が活用できる体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						達成率
① 県立学校への講師派遣	0	—	30	40	60	—%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和元年度まで、国の委託事業であったが、令和2年度は廃止となった。そのため、令和3年度より県の事業として開始したところである。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	コロナの影響により、健康課題がさらに複雑化、深刻化しているため、生命尊重を土台とした健康教育の推進が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	専門医の講師派遣体制が整備されてきた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	講師の調整に時間がかかるため、学校の希望する時期に開催できないことがある。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域や学校のニーズに応じた講師を地域で直接依頼ができる体制づくりを進めていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県立学校への講師派遣事業は、生徒が在籍中に一度は活用ができるよう、3年に1度を目安に継続して実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--